

# 追跡レポート

## あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成23年12月定例会 ●質疑  
坂本紀一 議員

### 一日も早い分譲を

町民の帰還に向け、震災で家屋の倒壊や津波により流出された方々のために、大吹地区宅地分譲を早期に実施し、新たな宅地造成を含めた検討をすべきではないですか。

### 速やかに分譲、新たな造成を検討

早速工事に着手し、速やかに分譲できるよう努めていきます。  
また、新たな宅地造成についても被災者が一日でも早く再建できるよう検討していきます。

### 新たに苗代替地区宅地を分譲予定

大吹地区宅地分譲は、8区画中6区画の申し込みとなっています。  
今年度は、新たに苗代替地区の宅地を分譲予定です。



建築に取り掛かる分譲地（大吹地区）

# 6人の議員が町政を問う

# 一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

## 町への義援金の配分は

山田町長／「広報ひろの」で報告している

**塩** 町に届いている義援金の配分は、町民も知る権利があると思います。

**町長** 広野町への義援金の配分は、平成25年2月1日現在、1億9239万8808円の義援金が寄せられており、そのうち1億8493万4950円を町民に配分しています。

配分内訳は、死亡者・全壊世帯に対してそれぞれ50万円、大規模半壊世帯に対して25万円、町民1人当たり1万5千円を配分し、この内容は「広報ひろの」で報告しています。

今後町に寄せられた義援金も、町民に適正に配分し、配分状況なども広報誌やホームページでお知らせします。

## 県営災害公営住宅を誘致せよ

山田町長／県に要望したい

**塩** 住宅問題を解決し、双葉郡をリードしていくため、さらには町の定住人口を増やすためにも県営災害公営住宅を誘致すべきではないですか。

双葉郡の南の玄関口であるわが町は、住民の帰還を促すとともに、定住人口の増加につながる施策を今後取り組まなければなりません。  
平成25年度に福島県が予定しています1000戸の災害公営住宅についても、要望したいと考えています。

## 空き家バンクを設置してはどうか

山田町長／住宅不足解消に努める

**塩** 住宅問題を解決するため、また、どこに誰が居住しているか把握するうえでも制度を作り、町民が安心して帰還できるようにすべきではないですか。

震災後の環境に則した制度設計を行い、住宅不足解消や町民の帰還環境整備に努めます。

## 双葉郡の高校は広野町に誘致すべき

山田町長／実現に向けて努力する

**塩** 郡内の県立高校はそれぞれ素晴らしく輝かしい伝統が受け継がれています。

伝統ある双葉郡にあるべきとの考えを、機会あるごとに述べています。  
今後実現に向けて努力します。

## 公民館前にモニタリングポストを設置せよ

山田町長／新たな要望箇所に含まれている

**塩** モニタリングポストは①町内何カ所に設置されていますか。②公民館前のデモ機を撤去したところにも、設置すべきではないですか。

①モニタリングポストの設置箇所数は、現在28カ所です。  
②新たに19カ所のモニタリングポストの設置を要望し、そのなかに公民館前も含まれています。



塩 史子 議員



町内に設置されているモニタリングポスト



広野中を巣立つ生徒